

「JDI 倫理規範」(JDI Ethics)

(株)ジャパンディスプレイ(以下「JDI」という)は、事業活動を行う上でJDIグループのすべての役員(これに準ずる者を含む。以下同じ。)及び従業員(臨時従業員・嘱託・パートタイマー、派遣契約に基づき勤務する者を含む。以下同じ。)に共通して適用される具体的な行動規範を示すことを目的に、「JDI 倫理規範(JDI Ethics)」を会社規則として制定しました。

本倫理規範は、経営トップのリーダーシップのもとに徹底され、また、経営層及び管理者は率先垂範して本倫理規範を社内組織及び関係組織へ周知徹底し、定着するよう最大限注力しなければなりません。

本倫理規範に反する事態が発生した時は、経営トップ自ら問題解決への姿勢を示し、原因究明、再発防止に努めるとともに、必要に応じてステークホルダーへの迅速かつ確かな情報の公開と説明責任を遂行しなければなりません。

本倫理規範に違反した場合は、JDIグループ各社の社内諸規則等に従い処罰の対象となり、また、法的措置が取られることがあります。

1. 基本姿勢

- (1) 私たちは、企業活動を遂行するに当たり、日々変化する社会的要請を的確に把握して、一人ひとりが常に社会人としての自覚を持ち、誠実に、社会的良識に従って行動します。
- (2) 私たちは、公正、適正な企業活動を確保する為、本Ethicsに則り、適用される法令、規範及び社内諸規則等を遵守します。

2. 社会との関係

(1) 地球環境の保全に真摯に取り組みます

- ① 私たちは、環境と調和した持続可能な社会の実現の為、企業活動の全域で一人ひとりが環境への配慮を念頭において行動します。
- ② 私たちは、環境に配慮した製品の提供に向け、製品生産の全ての段階において省資源・省エネルギーの実現及びライフサイクルにわたった環境への影響の継続的な低減に努めます。
- ③ 私たちは、環境に関する法令を遵守することはもとより、環境に関する自主管理基準を設定し、その遵守に努めるとともに、環境活動を公開して参ります。

(2) 高い倫理観を持って取り組みます

- ① 私たちは、専門的知識や技術・経験を活かして、人類の健康・幸福と社会の安全に貢献します。
- ② 私たちは、科学的事実に基づき、また、法令や社会通念の変化を常に認識して、公正かつ自律的に判断し、正直かつ誠実に行動します。
- ③ 私たちは、常に自らの専門的知識・能力の向上に努めることによって、技術革新を生み、安全で優れた商品等を提供します。

(3) 地域社会との良好な関係を維持します

私たちは、企業活動に対する地域社会からの理解の促進と維持に努めるとともに、地域社会の要請や期待に応え、地域社会の一員としての責任を果たします。

(4) 反社会的勢力とは関係を持ちません

- ① 私たちは、暴力団などの反社会的勢力とは一切の関係を持ちません。
- ② 私たちは、反社会的勢力からのいかなる要求にも断固とした態度で対応し、あらゆる不当要求を拒否します。

(5) 寄付行為・政治献金などは適法に行います

- ① 私たちは、政治・行政との健全で正しい関係を築きます。
- ② 寄付行為や政治献金を行う際には、その必要性、妥当性を十分に考慮した上で、関係法令を遵守し、定められた手続きに従って行います。

(6) 輸出入関連法令を遵守します

- ① 私たちは、貨物、技術(ソフトウェアを含む)の輸出取引及び輸入取引を行う場合には、輸出入関連法令を遵守します。
- ② 私たちは、法令及び社内諸規則に従い、貨物、技術(ソフトウェアを含む)の輸出入について適切な管理を行います。

(7) 個人情報の保護に努めます

私たちは、個人情報保護の重要性を認識し、適正な方法で個人情報を取得・収集するとともに、業務上知り得た個人情報を正当な目的以外に使用しません。また、個人情報を社内諸規則に従い、厳重に管理します。

3. お客さま、取引先との関係

(1) 常にお客さまに対して誠意をもって接し、最適解を提案出来るよう努力を続けます

- ① 私たちは、お客さまが必要とするものを的確に把握し、満足して頂ける技術・商品・サービスをタイムリーに提供します。
- ② 私たちは、関係法令に従って、製品の安全性及び品質に十分配慮し、品質管理を推進し品質向上に努めます。
- ③ 私たちは、製品に関する事故の発生に対しては、速やかに対応、損害の拡大防止をはかり、原因の究明・対策・再発防止に努めるとともに、お客さまから報告された品質に関する不満及び改善要求に対して、速やかに対応します。

(2) 調達取引先・協力先と誠実、公平かつ公正な取引を行います

- ① 私たちは、調達取引先の選定にあたっては、品質・信頼性・納期・価格及び取引先の経営の安定、健全性、技術開発力に加え、公正で透明性の高い情報開示、法令及び社会的規範の遵守、CSRへの取組等を十分に評価した上で、適正かつ公正に行います。
- ② 私たちは、全ての調達取引先に公平・公正に対応し、また、調達取引先からの個人的給付は受け取りません。(調達取引の対象には役務、サービス等も含めます。)

(3) 特約店に対し対等な立場で接し、誠実な取引を行います

私たちは、特約店との適正な関係に維持に努め、取引制限や販売価格拘束、事業活動の拘束等の不公正な取引は行いません。

(4) 法令や社会通念に反する贈賄等の不適正な支出は行いません

- ① 私たちは、お客さまその他取引先との関係において、社会通念を逸脱する物品・金銭などの贈答や過剰な接待の受領又は供与を行いません。
- ② 私たちは、公務員(みなし公務員、外国公務員を含む。以下同じ)に関する倫理規程を遵守します。また、公務員及び国内外の法令に基づき規制される民間企業の役員・従業員に対する贈賄又はこれに類する不当な利益の申し出・約束・供与は行いません。

(5) 公正な宣伝・広告活動を行います

私たちは、宣伝・広告等の活動において、法令並びに社内諸規則を遵守し、不当表現を排除するとともに、社会的道義及び公序良俗に従い、公正かつ適切な表示・表現を行います。

4. 競合会社との関係

(1) 自由な競争原理に基づき、独占禁止法を遵守します

- ① 私たちは、独占禁止法その他諸外国の公正競争を維持するための法令等(以下、「独占禁止法等」といいます。)を遵守することはもちろん、法と高い倫理観に基づいた行動、公正、透明、自由な競争を基本として適切に活動します。
- ② 私たちは、独占禁止法等に違反しているとの誤解を招くような同業者間の会合の結成や参加等を行いません。

(2) 他者の機密情報を不正な手段より入手する等、不正な競争を行いません

- ① 私たちは、他者の機密情報を、その開示について正当な権限を有する者から、自社の業務上取得する必要がある場合のみ、公正な商習慣に照らして公正かつ適切な方法(契約など)で入手することとし、不正な手段によっては取得しません。
- ② 私たちは、入手した他者の機密情報を契約などで定められた範囲内で適正に使用するものとし、不正な目的では使用致しません。

5. 株主・投資家の皆様との関係

(1) 会社資産を有効に活用して株主価値の最大化を図ります

- ① 私たちは、組織、制度、経営資産等の見直しを常に行い、経営の効率化を追求します。
- ② 私たちは、有形・無形の資産を適切に管理するとともに、最大限に活かすことで企業価値の向上に努めます。

(2) 適切な情報の開示を行います

- ① 私たちは、会社の経営内容、事業活動状況等の企業情報の開示を、関係法令に従い、適時かつ適切に行います。
- ② 私たちは、発信する企業情報の正確性を常に確保し、秘密保持の必要性を考慮して適時、適切かつ公平な方法により情報発信を行います。

(3) 株式等のインサイダー取引を行いません

- ① 私たちは、会社情報の漏えい防止に常に注意を払い、自社、関係会社・取引先(子会社、関連会社、出資先、契約関係にある会社、契約交渉中の会社をいう)などに関する重要情報を第三者に口外しません。
- ② 私たちは、自社や関係会社・取引先などに関し、投資家の投資判断に影響を及ぼす未公表の情報(インサイダー情報)を知った場合には、インサイダー情報が公表されるまでの間は、自社又は関係会社・取引先などの株式等の取引、又は当該取引の幫助を行いません。

6. 従業員等個人との関係

(1) 各自の人権を尊重し、基本的人権を侵害する行為を行いません

- ① 私たちは、採用・処遇及び商取引などあらゆる企業活動において、当事者一人ひとりの人権を尊重し、性別、性的指向、年齢、国籍、人種、民族、思想、信条、宗教、社会的身分、門地、疾病、障がいなどによる差別や個人の尊厳を傷つける行為を行いません。

② 私たちは、従業員の雇用にあたっては、各国・各地域の法令等に準拠して実施します。児童労働*は認めません。

(* : 15歳未満(該当国法が許可すれば14歳未満)、国の定めた最低雇用年齢未満、義務教育を終えた年齢未満による者の労働を児童労働という。)

③ 私たちは、従業員に強制的な労働を行わせず、また、虐待や各種ハラスメント(嫌がらせ)などの過酷で非人道的な扱いを禁止します。

(2) 効率的で、働きやすく、健康・安全が守られる職場環境を整備します

① 創造的、効率的に業務を遂行できる環境を整え、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現を支援します。

② 私たちは、安心・安全で衛生的な職場環境の整備に努め、また、業務上の安全・衛生に関する法令等を遵守します。

7. 会社・会社財産との関係

(1) 会社の財産を私的流用しません

私たちは、会社の財産(有形・無形の資産)を社内諸規則に従い適正に管理し、私的用途に流用する等、業務目的以外に使用しません。

(2) 正しい会計処理、会計報告を行います

私たちは、会計情報を正確に、適時に記録し、公正な会計処理と適正な情報記録及び報告を行います。また、会計上合理的に選択し得る解釈・処理が複数ある場合には、最も保守的かつ透明な解釈・処理を行います。

(3) 会社及び第三者の営業秘密を適切に取扱います

私たちは、他者・自社の営業秘密、機密情報について、その価値を尊重します。他者から開示を受けた機密情報も自社の機密情報も、その漏えいや不正使用により、他者や自社に損害を与えたり、契約違反や法令違反を引き起こしたりしない様に、本規範や契約、社内諸規則を遵守して適切な管理・取扱いを行います。

(4) 知的財産権を保護、維持し、積極的に活用し、第三者の正当な知的財産権を尊重します

① 私たちは、知的財産(特許、実用新案、意匠、商標、著作物等)を積極的に創造し、適切に保護して効果的な活用に努めます。

② 私たちは、他者の正当な知的財産を尊重します。新製品・新技術の研究・開発・設計・生産・販売などにおいて、他者の知的財産権を事前に調査するなど、他者の正当な知的財産権の権利侵害の未然防止に努めます。

(5) 情報システムを適切に使用します

① 私たちは、会社の情報システム、情報機器を社内諸規則に則り適正に利用し、個人的な目的のために使用するなどの不正利用は行いません。

② 私たちは、会社の情報システムに関わるID・パスワード等を厳重に管理し、社外への漏えいを防ぎます。

③ 私たちは、他人のID・パスワード等を盗用したり、不正に他人のコンピュータシステムにアクセスしたりしません。